

# スマイル・まやニュース

令和3年8月号

<p><b>院長のつぶやき</b></p> 	<p>コロナウィルス感染者が急増している昨今、今後どのくらい増えてくるのか不安な毎日です。埼玉県も非常事態宣言が発令されようとしています。当院では、基本的な感染対策を講じておりますが、マンパワーを確保しませんと皆様の診察のリクエストに十分対応できない状況が続いております。ご迷惑おかけして申し訳ありません。</p>
<p><b>まや子ドクターのつぶやき</b></p> 	<p>コロナ禍で求められること 外来を新規にご利用いただく方や、長年通院の患者さんも「このコロナのうちにきれいになっておきたい」とおっしゃる方が多くなりました。きっと、この先マスク生活から解放される日を待ち望まれつつ、旅行や食事などの自粛生活の中で、自分のために心地良い事を求めていらっしゃるのではないかと思います。特に「ニキビあとをきれいにしたい」「ひげ脱毛をしたい」など、年齢を問わず男性の患者さんが増えています。また、例年であれば夏場のシミとりレーザーは敬遠されがちですが、マスクの着用によりレーザー後もあまり気にせず済むからという理由でシミ治療の方が増えています。脱毛やシミ治療をご希望の方は、今まで以上に紫外線対策をしっかりといただきながら外来をご利用いただくようお願いいたします。美肌や美白は紫外線対策無くしては手に入りませんから、引き続き頑張ってお過ごしください。</p>
<p><b>形成外来のつぶやき</b></p>	<p>顔面神経麻痺 顔の半分や一部分が思うように動かなくなる状態のことをいいます。眉毛が下がる、眼が閉じない、口が動かない、笑えない、食べ物がこぼれる、といった症状が起こります。原因は様々ですが早期に適切な治療が必要です。後遺症として顔面神経麻痺が残ると陈旧性（ちんきゅうせい）顔面神経麻痺と呼ばれ、症状に応じた手術法により改善を行います。</p>
<p><b>薬剤師のつぶやき</b></p>	<p>気温が上がると気をつけなければならないのが熱中症です。体のだるさ、吐き気、めまい、立ちくらみなどが熱中症の主な症状です。このような症状がでましたら水分・塩分をとり、涼しい場所で休んでください。症状が改善されない場合は医療機関に連絡が必要になります。たくさん汗をかいた時は水分と塩分を上手に取り入れることが大切です。熱中症対策に塩分の入ったタブレットや塩飴などを持ち歩くのもおすすめです。汗をかきすぎて脱水症状が出ている時は経口補水液オーエスワンもおすすめです。ただし塩分は取りすぎも注意ですので量は守りましょう。</p>
<p><b>医療業界のつぶやき</b></p>	<p>デルマドーム 「皮膚は内臓の鏡」といわれるように、皮膚と内臓疾患との関連性は注目されてきました。内臓悪性腫瘍、糖尿病、肝臓膵疾患など皮膚症状からの基礎疾患の診断に直結する機会も多く、皮膚科医はこれら疾患の認知に有益であると考え、日頃からこの症状を意識して診察にあたる必要があると考えております。私の診療経験で3か月市中病院に発熱で内科に入院している患者さんがいました。40歳女性でした。原因不明と言われていたが、ある日痛みのある皮疹があるので診てほしいと内科主治医の依頼がありました。診てすぐに sweet 病とわかり内科の先生にヨウ化カリウムの投与をお願いしました。またこの方は白血病の可能性があると伝えました。翌日には解熱し退院できたが、やはり白血病があり治療開始となりました。このことから皮膚科医は内科疾患にも十分精通しなければならない教訓を得ました。</p>
<p><b>今月の漢方</b></p>	<p>夏場の厚い中、マスクをつけての活動が当たり前となっていますが、顔がほてってのどが渇く、夏バテで疲れがとれないといったお悩みはありませんか。のどの渇きとほてりがある時には、体を潤しながら、冷やす生薬が含まれている白虎加人参湯（びゃっこかにんじんとう）という漢方薬があります。また、暑気あたりや暑さによる全身倦怠には、体を潤しながら、元気をつける生薬が含まれている清暑益気湯（せいしよえつきとう）がお役にたてるかもしれません。</p>
<p><b>休診情報</b></p>	<p>火曜・金曜日、8/11（水、祝）～8/15（日）まで休診です</p>

スマイル・まやクリニック  
TEL : 04-2939-1213